

令和7年度第4回男女共同参画推進委員会

日時 令和7年7月17日

午後7時から

場所 碧南市役所 談話室3

1 小学校での出張出張授業について

(1) 大浜小学校での出張授業

7/2 長谷川委員長、杉浦委員、事務局杉浦で学校訪問

校長先生に出張授業を行うことを快諾いただいた

藤浦校長より 10月末の運動会の後であれば日程調整可能

6年生は3クラスあるため、2限目・3限目・4限目でどうか

→日程について今後は学校と事務局で調整することとなった

(2) 西端小学校での出張授業

(3) アンケート実施について

対象：西端小6年生保護者、大浜小6年生保護者

内容：昨年度と同じ（比較のため）

スケジュール：9月上旬 保護者アンケート配布（学校へ依頼）

3週間程度の回答期間

10月中旬 回答まとめ

11月以降 出張授業

2 フォーラム・講演会について

2/1（日）13：30～ 市役所大会議室

事務局よりCBC小高様へフォーラムの司会を依頼、ご快諾いただいた

3 その他

男の料理教室練習会について

候補日 11/19（水）、26日（水）、27日（木）

19時から21時 あおいパーク調理加工室

次回は8/28（木） 談話室4・5

碧南市男女共同参画推進委員会 勉強会

日時 令和7年7月17日
午後7時30分から
オンライン

橋詰さまへの質問

- 避難所運営の責任者になった経緯
- 女性視点で、避難所で何が大変だったか。また日頃の備えとして、個人では何が必要だと考えるか
- 避難所にて受付をする時の登録内容と個人情報の取扱方法
- 食料や水等の支援物資は、避難所開設からどれくらいしてから到着したか、また避難所に足りないと感じた備品は
- 責任者として運営を行う中で優先順位をつける機会（経験）があったか
- 身の危険を感じたことはあったか
- 女性が避難所で安全に利用できる工夫はあるか。（夜間のトイレや一人にならない方法など）
- 避難所運営を通して難しかった事、後悔していること
- 食事等物資の配分方法。特に人数より支援物資が少ない場合どのように分けていたか
- 男女のプライバシーに関する内容ではどういったことが問題になったか、またそれにどう対応したか
- 以前熊本地震を体験したの自治会の女性のニュースで、避難所運営に関することは男、女は炊き出しと掃除をしていればよい、というように性別で仕事に分けられてしまい、生理用品や赤ちゃんのミルクなど、必要な人のもとに物資が届けられなかったという話を聞いた。運営について性差を感じることはあったか。また、女性の防災リーダーの必要性についてどう考えるか。

memo

時間があったら質問したい内容

- 震災前、町内会（自治会）へ加入していたか、またそれ以外でも地域の防災訓練に参加していたか。町内会の横のつながりが災害時に役立ったか。
- 被災後、日にちが経つにつれストレスが溜まってくると思うが、精神面や体力面のケアにどんな工夫をされたか。
- 碧南市には各避難所にファーストミッション BOX（誰でも避難所を開設できる手順書）が設置されている。安全確認をしたり、避難施設内を決められた範囲に仕切ったりするため、避難所の開設に最速で2時間程度かかる。市の職員の到着が遅れた場合、基本的には地域の方のみで避難所が開設できるようにする、という制度だが、震災を経験した立場から、大きな震災が起きた直後にこのようなことが可能だと思われるか
- 今回責任者をしていた避難所を開設したのは誰か
- 町議会議員は何かしてくれたか
- 土砂崩れがおきた場所に元々家が建っていたか
- 浸水被害がおきた場所に元々家が建っていたか
- 過去に大きな災害が起きた場所では、慰霊碑などが建てられていることもあると思うが、そのような記念碑は穴水町にはあるか
- 震災前、地域で防災減災活動に熱心な人たちはどのような活動をしていたか
- ライフラインの復旧はどのような順番でどのように知らされたか
- 避難時等にある備品でいらなかったものは
- 実際に震災を経験し、今後の防災活動を行う中で何が重要だと考えるか
- 準備しておいてよかったもの、準備しておけばよかったもの